

空調機の運用改善で
快適性を損なわない省エネを実現。

一丸となって取り組んだ結果
「省エネ大賞」を受賞。

省エネ支援サービス

ご採用事例



特別養護老人ホーム 南郷の里様

(大阪府 大東市)
<http://www.souseifukushikai.com/>

南郷の里は、生活共同室を中心に、ご入居者が10人程度の小グループで暮らすことによって、ひとりひとりの心身状態に応じた介護を実践するユニットケア式の特別養護老人ホームです。街の中央に位置するという利点を生かし、外出支援・レクリエーションにも積極的に取り組んでおられ、スタッフと入居者様の笑顔があふれる施設です。また、協力病院である蒼生病院との緊密な提携により、医療面のケア・機能訓練においても安心で、充実した日常をお送りいただけます。



特別養護老人ホーム 南郷の里
施設長 中村久美様

ご採用の経緯

南郷の里は、入居者様が快適で過ごせるように、空気環境を保つことが何よりも大切な事。しかし施設の空調機の利用時間が長く、電気使用料金が高い傾向にあり、なんとか経費を削減できないか悩みの種でした。

自力で省エネに取り組もうとするも、空調機を管理する人手が足りなかったり、入居者様の快適性が優先で、連続運転をしまっている部屋も少なくありませんでした。

そんな悩みを、普段からお付き合いのあるダイキンさんに相談したところ、施設の空調機に『インテリジェント・タッチ・マネージャー』という高機能コントローラーを設置し、今までの空調機の使い方を見直す、省エネコンサルティングを含めた提案に惹かれました。

インテリジェント・タッチ・マネージャー設置によって、施設の空調機の一括管理やスケジュール設定による運転自動化を可能にした後、南郷の里の空調機の運用改善がはじまりました。ダイキンさんが、遠隔から収集した空調機の運転データを活用してムダな運転を室内機ごとに抽出し、改善案を提出してくれるので、その提案をもとに空調機の年間スケジュールを決定していきました。

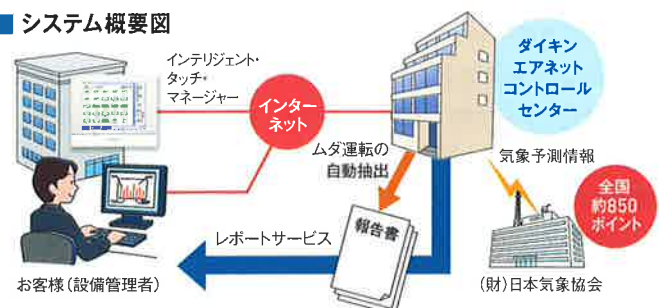
そしてダイキンさんはもちろん、スタッフとも話し合い、一丸と

なって省エネに取り組んだ結果、空調機のムダを省くと同時に、快適さを損なわない運用改善が実現しました。

この取り組みをきっかけにスタッフの省エネ意識も更に高まり、夏季には、アロハシャツによるクールビズも実施。人手が足りないから省エネができない、ではなく、まずやってみようとする姿勢や、南郷の里のスタッフ全員が一丸となって取り組んだことが大きく評価され、省エネ大賞を受賞することができました。

空調機を管理する手間が省けただけでなく、快適性を損なわず、楽しみながら空調機の省エネに取り組むことができ、とても満足です。

■ システム概要図



- ・ 詳細な電力消費、空調運転データの提供
- ・ 気象変化に配慮した自動省エネ制御
- ・ データ分析による省エネコンサルティング